

体験を仕事と活動に生かしたい

全国身障者スポーツ大会で金メダルを獲得した 渋谷悦夫さん (団体職員・魚町)



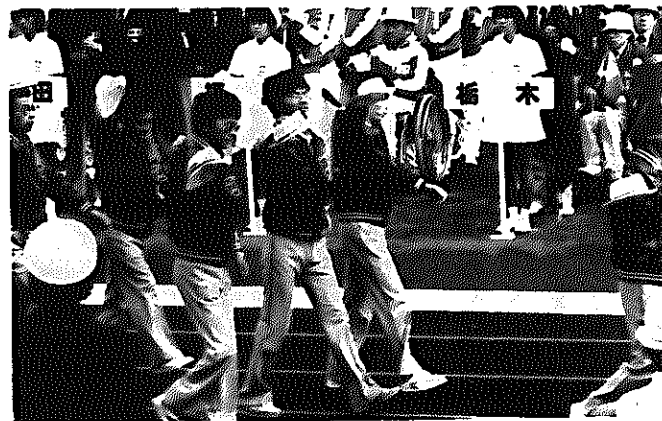
力強いフォームでやり正確投げを行う



全国大会開会式で入場する新潟県選手団

十月十六・十七日の両日、松江市で「第十八回全国身体障害者スポーツ大会」が開かれました。この大会に、県代表として出場した渋谷悦夫さんは、「やり正確投げ」で優勝、「卓球」では三位に入賞しました。

「大変な歓迎で感激の毎日でした。万全な大会運営と、細かいところまで行き届いた心配りが、とてもうれしかったですね。『手をつなぎ、心をつないでわくわく力』のキャッチフレーズにマッチした素晴らしい大会でした。でも、入場行進や試合にはすっかりあがってしまい、存分に力を出しきれなく」と、渋谷さん。



入場行進する渋谷さん(右から四人目)

市社会福祉協議会事務局で執務する渋谷さんはテキパキと働く

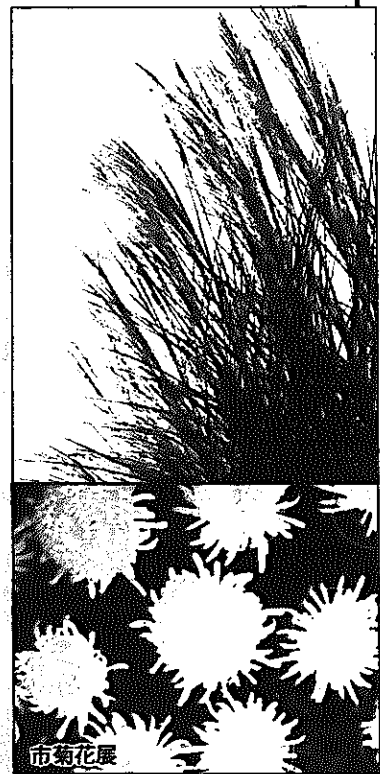


秋拾

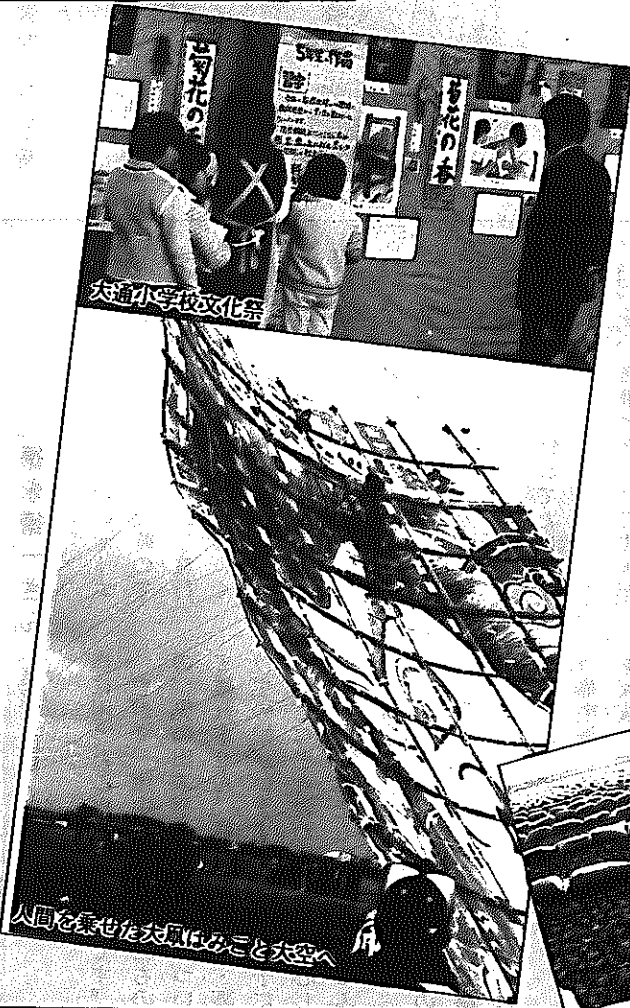
越後の秋は短い。間近かに冬をひかえた大切な季節であり、おたやかな気候の文化の日までは戸外の催し物が集中する季節です。山の峰が白く変わるころには、秋しくれやつゆの霜がおりて、冬のけはいが早足で訪れ、晩秋の寂しさを感じさせます。こうした秋の白根の表情を拾ってみました。



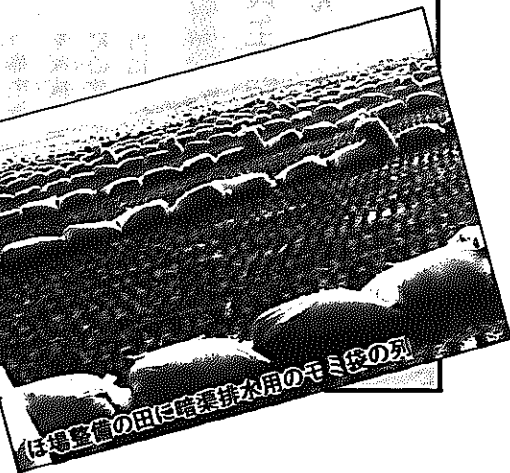
白根児童公園



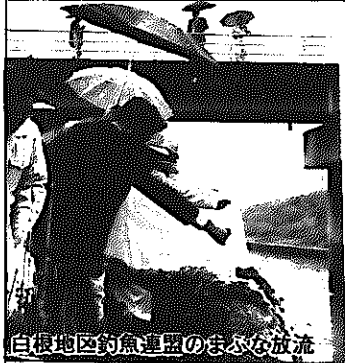
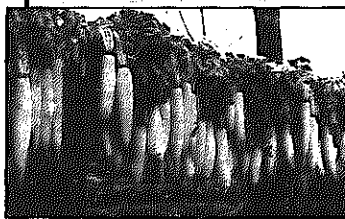
市菊花展



大船を操る大船はみこと大空へ



ほ場整備の田は稲葉排水用のモミの刈



白根地区釣魚連盟のまぶな放流

信濃川漁協白根支部のまこい放流